

夏 着衣泳授業 本番を目前に命を守る泳ぎ方をマスター

夏休み期間中の水難事故を防ぐため、町内の1年生から6年生1,123人を対象とした着衣泳の授業が行われました。田川地区消防本部の隊員が講師を務め、救助が来るまでの間の正しい身の守り方を指導。最初は上手に浮けず悪戦苦闘していた子どもたちでしたが、練習を重ねて自分の命を守る方法を体得していました。



↑ 会話を控え、体の力を抜く着衣泳のコツを、実践で学んだ伊方小の2年生たち。

↓ プログラムの最後に行われた住民総出の「盆踊り」で、会場の熱気は最高潮に。



熱く濃い盛り上がりを見せた真夏の祭典 上金田フェスタ 2023

地域の夏を彩る「上金田フェスタ 2023」が、7月22日に上金田集会所で開かれました。ステージでは、上金田郷土芸能保存会による獅子舞を皮切りに、マジックや弾き語りなどが披露され、会場は大にぎわい。地域住民は、コロナ禍で開催できなかった4年分を凝縮したかのように熱いひとときを過ごしていました。

自然の大切さと怖さを学び深めた関心 上野小「森林環境教育授業」

ふくおか森林インストラクター会主催の森林環境教育授業が、7月4日に上野小学校で行われました。4年生9人は、福智町の自然や森林の役割、水の怖さなどを学んだ後、木やどんぐりなどを使った木工クラフトを制作。子どもたちは、授業を通して日常生活と森林との関係について理解と関心を深めました。



↑ 竹尾翔空くん(左)にクラフト作りを教えるインストラクターの中村美幸さん。

↓ ロゴ入り球体が新たに買った「新しい地球」は、12月末まで陶板前で展示予定。



明るい未来創造した作品を町で展示中 キメコミアート「新しい地球」

博多阪急で開催の「イワミズアサコアート展」のワークショップで制作された「新しい地球」の展示が、7月11日から「ふくちのち」で始まりました。カノアラウレアーズ福岡の熊本選手と賀谷選手が、制作に携わった縁で今回の展示が実現。イワミズさんは「作品から明るい未来を感じてもらえたら」と目を細めていました。

↓ 「読書通帳」と一緒に西日本シティ銀行のオリジナルグッズも贈られ、ご満悦の弁城小・新一年生7人。



本 読書通帳贈呈式 で学力を貯め将来の財産に

町と包括連携を結ぶ西日本シティ銀行と「ふくちのち」が共同開発した「読書通帳」が、7月14日に町立学校の新一年生161人へ贈呈されました。新型コロナウイルスの影響で4年ぶりに開かれた贈呈式では、全児童の代表として弁城小の7人が受取。ふくちのち館長の井上憲治さんは、「たくさん本を借りて記帳し、学力を貯めてほしい」と呼びかけていました。

災害から命を守る知識と心構えを学習 令和5年度 福智町防災講演会

地域の防災力を高める「福智町防災講演会」が、7月2日に地域交流センターで開催されました。今年3月末まで消防士として勤めていた「防災 LABO M & M」代表の身吉正光さんが、東日本大震災時の救助体験などを交え講演。参加者へ、日頃から防災に意識を向け、物資と知識の両方を備えておく重要性を訴えました。



↑ 防災を学んだ参加者341人は、豪雨・台風時期に向け「災害スイッチ」をオン。

↓ 市場小1年生の西川惟稀くんは、庚申窯の高鶴さんと一緒に星型の皿を作陶。



児童生徒の豊かな個性溢れた作陶教室 上野焼子ども作陶教室

町子ども会育成連絡協議会主催の「上野焼子ども作陶教室」が、7月9日に金田分館で開かれました。町内の小中学生計80人が、それぞれのアイデアを盛り込んだ世界にひとつだけの作品を作陶。子どもたちは、作陶体験を通じて町の伝統工芸を学びながら、工夫して作品を作り上げる喜びを体感していました。